

事業概要表（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ミクロネシア
2. 事業名	ミクロネシア連邦チューク州フォントトン島でのソーラーシステム利活用支援プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	<p>ミクロネシアチューク州内の主島（ウェノ島）を除く離島は未だ電化されていない地域であり、自家発電装置を持たない家庭では電気を使えない暮らしを強いられている。自然エネルギーを活用した発電によって夜間の明かりがもたらされること、電気を利用した機器を使用出来るようになることが、非電化地域の島民たちの希望である。</p> <p>本事業で対象地域とするフォントトン島では、これまでも支援物資としてのソーラーパネルの提供を受けた経緯はあるが、メンテナンス技術の供与が伴われなかったために適切な使用/管理がされず、結局すぐに壊れて廃棄されるということを繰り返して来ている。本事業ではメンテナンス技術の供与を行うことで、住民たちが自律的に利用・管理できるようになることを目指す。</p> <p>また、対象地域の女性たちは自立に向け小さな規模のビジネスを手がけたいとの希望を抱いているが、実際に取り組むにあたっての企画力・運営力・財力が伴わずに動き出せない状態にある。本事業では電気を活用した新たなコミュニティビジネスの創出のきっかけ作りを行う。</p>
4. プロジェクト目標	フォントトン島の女性たちがソーラーシステムの技術を用いて収入を得る手段を身につける
5. 対象地域	ミクロネシア連邦チューク州 フォントトン島
6. 本事業の対象となる人々	フォントトン島女性団体（Liew's Fin Fonoton Association）、対象地域コミュニティ
7. 事業活動と期待される変化	<p><アウトプット></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ソーラーシステム保守管理人材が育成される 2. ソーラーミシンを活用し、販売可能な縫製品製作の技術を習得する 3. テスト販売が行われる <p><活動></p> <ol style="list-style-type: none"> 1-①電気の基本知識の勉強会 1-②太陽光発電基礎知識・システム接続/使用法の勉強会 1-③点検方法・トラブル事例と対処方法の勉強会 1-④知識・技術の習熟度/理解度チェック 2-①ソーラーミシン操作方法のワークショップ 2-②製作ワークショップ 2-③製品チェックとアドバイス 3-①民族衣装の市場把握 3-②製品の決定・販売
8. 実施期間	2019年10月～2022年3月（2年4ヵ月）
9. 事業費概算額	13,616千円
10. 事業の実施体制	日本側実施団体：特定非営利活動法人ザ・ピープル 現地カウンターパート：フォントトン島女性団体（Liew's Fin Fonoton Association）
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人ザ・ピープル
2. 活動内容	地域での循環型社会づくりの実践活動を基盤とし、タイ国少数民族教育支援などのNGOとしての実績を有する。2016年度には現地において事前活動の実績を有する。